

令和5年度

事業概要

Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER



愛知県赤十字血液センター

日本赤十字社

ごあいさつ



愛知県の血液事業につきましては、平素より県民の皆さまをはじめ、愛知県、市町村、各献血協力団体および医療機関など関係各位のご支援とご協力に対して厚く御礼申し上げます。この度、愛知県赤十字血液センターの2023（令和5）年度事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

当年度の献血は、新型コロナウイルス感染症の影響は日常生活では低減されてきたものの、献血バスを配車して実施する企業献血では、コロナ前と比べ勤務形態の変容にともない協力社数の回復は厳しい状況でした。

コロナ禍での献血者の減少や献血実施の中止が相次いだことの対応策としては、県内各地の献血ルームに献血者を誘導することで一定の成果を上げていたことから、固定施設での協力を推進するための広報やキャンペーンを強化しました。しかしながら、献血ルームへ足を運んでいただけの人数は期待どおりには伸びませんでした。

しかし、このような中でも最終的に愛知県内では294,482人という例年と比べ遜色のないご協力数をいただくことができました。これはひとえに、県民の皆さまのご協力とともに、各種団体さまのご配慮の賜物と存じます。血液事業を支えてくださる皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

次の一年、東海北陸ブロック内の輸血用血液の供給状況は、2023（令和5）年度実績比で赤血球製剤・血漿製剤で微増、血小板製剤で微減と予測され、原料血漿の確保では前年度より約3千リットルの上乗せが必要とされています。

これらの数量を、年間を通じて安定的、かつ遅滞なく確保するキーポイントは、近年皆さまに呼びかけています献血Web会員サービス「ラブラッド」と、継続的な「予約」献血者の拡大です。「予約」は、献血者の皆さまにも、所要時間の減少や効率的なスケジューリングのメリットがありますが、献血の計画的かつ安定的な確保のためにも大きな役割を果たすことから、献血予約の重要性を周知し、会員数、予約者の増加に努めてまいります。

また、こうした取り組みとともに、少子高齢化が続く中では若い世代の献血への参加拡大を図ることが、短期的にも、長期的にも重要な課題です。愛知県・市町村と連携して実施している「10代夏のキャンペーン」や「卒業献血キャンペーン」、施設見学や献血セミナー、親子血液教室や学生献血連盟によるイベント等を実施し、10代・20代の若い方々をはじめとした県民の皆さまへ広く献血を知っていただけるよう取り組んでまいります。

愛知県赤十字血液センターでは、これからも安心・安全で安定的な事業を効率的に運営することで、皆さまの尊い善意を患者さまのもとにお届けできるよう努めてまいります。何とぞ今後ともいっそうのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年8月

愛知県赤十字血液センター
所長 木下朝博

1	概要	Outline
2	事業内容	Main Activities
3	血液事業のながれ	Flow of Blood Services
2	血液センターの業務	Blood Center Operations
4	採血・献血推進	Blood Collection & Promoting Blood Donations
5	献血推進	Promoting Blood Donations
6	広報トピックス	Public Relations
8	供給	Distribution
9	医薬情報	Medical Information
10	施設	Facilities
3	組織	Organization
12	組織機構図	Organization Chart
13	愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center
13	愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch
4	活動実績	Actual Result
14	沿革	History
18	献血功労表彰	Recognition
5	統計資料	Statistical Data
20	献血種別の推移	Blood Donation Type of Transition
20	年代別の推移	Transition by Age Group
21	献血種別献血者数	Blood Donation Type Number of Blood Donors
21	年代別献血者数	Blood Donations by Age Group
22	献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合	Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage
22	施設別採血種別献血者数の推移	Changes in the Number of Blood Donors by Site
23	献血ルーム別献血者数	Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms
24	献血ルーム別年代別献血者数	Number of Blood Donors by Age Group
25	供給状況	Number of Distribution of Blood Products
25	供給実績	Supply Results

1 概要

Outline

日本赤十字社が取り組む血液事業において、献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液製剤の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。

血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的と基本理念 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（抜粋）（令和2年9月1日改正）

総則（目的） 第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

- （基本理念）第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。
- 血液製剤は、国内自給(国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下に同じ。)が、確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
 - 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
 - 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

- ・献血者の確保及び献血の受入れ
- ・輸血用血液製剤の供給

関連事業

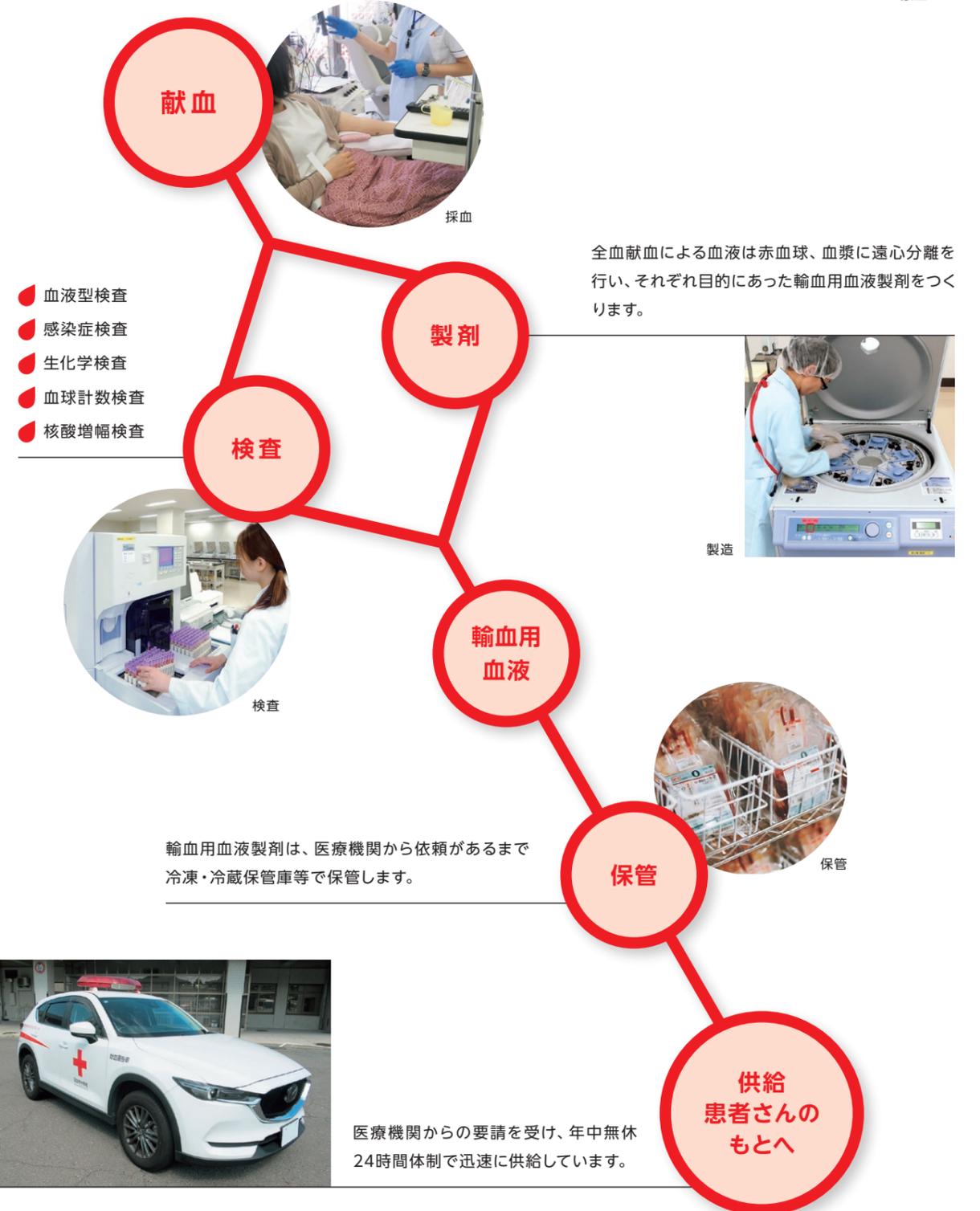
- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

血液事業のながれ Flow of Blood Services

献血いただいた血液は、血液を必要とする患者さんが安心して輸血を受けられるよう安全性確保のための検査を行った後、いくつかの工程を経て、輸血用血液製剤として生まれ変わります。私たちは安全性の高い輸血用血液製剤を医療機関に安定供給するために、24時間体制で医療を支えています。



献血バス



2 血液センターの業務

Blood Center Operations

採血・献血推進 Blood Collection & Promoting Blood Donations

愛知県内の様々な場所で献血バスを通じて、多くの方々に献血のお願いをしています。また、駅周辺や商店街など、交通の便のよい場所に献血ルームを設け、献血いただく方が快適で安心して献血ができる環境を整えています。

移動採血① 献血バス

平日は官公庁、企業、学校等の各種団体など、休日はショッピングモール等の商業施設やイベント会場など、献血バスは1年を通じて県内全域をほぼ休みなく巡回して各地域の皆さまに献血のご協力をいただいています。献血バスは瀬戸市と豊橋市を起点に毎日6～8台稼働し、1台(4ベッド)あたり健診医師1名、看護師3～4名、事務職員2～3名のチームを組んで採血業務に従事しています。



献血バス

移動採血② オープン献血

会議室や多目的スペースなどに簡易ベッドと機材一式を運び込み献血の受け入れを行っています。



オープン献血

献血ルーム

愛知県内には9か所の献血ルーム(常設の献血会場)があります。都市部を中心に主要駅周辺や商店街、ショッピングモールなどに献血ルームを設け、献血いただく方が快適に献血できる環境を整えています。



受付(献血ルーム タワーズ20)



問診室(献血ルーム フォレスト)



採血室(献血ルーム ゲートタワー26)

献血推進 Promoting Blood Donations

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」 Blood donation web membership service

医療機関へ安定的に血液を供給し、輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。かつて「複数回献血クラブ」として継続的に献血にご協力いただける登録者を募集してきましたが、2018(平成30)年、利用いただく方の利便性の向上を目的に「ラブラッド」へとリニューアルをしました。2022(令和4)年にはラブラッドアプリをリリースし、「アプリ版献血カード」や「事前 Web 問診 回答機能」の導入、「プレ会員」の登録等を開始しました。



愛知県の献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規登録者	31,888人	31,548人	32,311人



会員になると

- 全国の献血会場(一部を除く)の Web やアプリでの予約が可能になります。
- ポイントを貯めて記念品と交換できます。
- 血液の検査結果等を含む献血記録が献血後数日で Web やアプリにて確認できます。(会員になられた方は検査結果通知はがきの発送を停止します。)
- 過去の献血記録が確認できます。(2005年4月以降)
- メールや LINE、プッシュ通知で会員限定のお知らせやご案内、献血の依頼等が届きます。(次回献血可能日、イベント、キャンペーン情報、「献血のお願い」など)
- 住所などの変更が Web やアプリ上で可能になります。

プレ会員とは

- 献血可能年齢未満でも、献血未経験でも登録できます。
- 献血可能年齢までのカウントダウンが表示されます。
- 献血に関するクイズに答えたり、コンテンツが閲覧できます。
- 献血可能年齢に到達すると初回献血の予約ができます。
- イベントやボランティア情報を検索し、応募いただくことができます。

献血のご予約のお願い

血液センターでは、有効期間のある輸血用血液を医療機関からの需要に応じて確保していくために、また、献血される方が一時期に集中することによる密集や密接を避けるため献血のご予約をお願いしています。

事前に予約をしていただくと...

- 献血される皆さまのため... 当日のタブレットによる問診回答が事前に可能になることで、スムーズに受付ができ、時間が短縮できます。
- 輸血を受けられる患者さんのため... 何型の方がどのくらい協力していただけるかを事前に把握することで、患者さんに安定的に血液をお届けすることができます。

骨髄バンク事業 Marrow Donor Program

骨髄バンク事業は、国(厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社及び地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネーター等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、全国の献血実施場所(献血ルームや献血バスなど)において骨髄バンクドナー登録希望者の受付及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。

愛知県内の新規登録者数

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規登録者	1,031人	806人	1,339人



愛知県内の登録者数の推移



ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように

血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。



広報トピックス Public Relations

施設見学

学校をはじめとした団体見学の受入れを行っています。ふだん接することのない輸血用血液製剤が作られる工程を見ることができるほか、献血された血液が病院に届くまでの流れを学べます。



献血セミナー

青少年を対象に、身近にできる献血を通じて、病気やけがの人のいのちや健康を手助けできる大切さを伝えるセミナーを実施しています。



職場体験

中高生を対象に受入れした職場体験では、献血者の対応や街頭での献血の呼びかけを体験したり、看護師や職員へのインタビューを行うなど、献血の意義と現状について体験していただきました。



年少者を対象とした普及啓発

幼少期から献血に触れ「献血は身近なボランティア」であることを知っていただくため、ショッピングモール等で開催される子ども向け健康増進イベントや地域防災イベントに参加しました。親子いっしょに楽しめるパネル展示や、献血キャラクター「けんけつちゃん」とのふれあい等を通じて、血液や輸血について知識の普及啓発を行いました。



夏休み親子血液教室 2023

親子でいのちや健康、助け合いの大切さについて考え、献血の必要性を学ぶ「夏休み親子血液教室」を開催しました。本教室は愛知県との共催で実施しており、小学校4～6年生とその保護者を対象に瀬戸市にある血液センターと豊橋市にある豊橋事業所で、血液のお話や血液センターの見学、希望する小学生を対象とした血液型判定などを行いました。



キャンペーン、イベント等の開催

様々なキャンペーンやイベントを開催し、献血の普及啓発を行っています。

特に、年間を通じて献血の確保が厳しくなりがちな夏季、冬季や、10代～30代の若い方々の節目の時期などにスペシャルイベントを開催し、献血啓発と安定的な輸血用血液の確保を図っています。この若い世代の献血者数は10年間で3割以上減少しているため、愛知県学生献血連盟「Aichi Go」を中心に学生ボランティアの方々の斬新なアイデアや実行力をいただきながら毎年多彩な取り組みを行い成果をあげています。

愛知県学生献血連盟



主催キャンペーン

サマー献血キャンペーン

(アスナル金山：8月20日)



全国学生クリスマス献血キャンペーン2023

(イオンモール長久手：12月17日)



愛知県学生スプリング献血キャンペーン

(刈谷市みなくる広場：3月17日)



はたちの献血キャンペーン in エアポートウォーク(2月22日)

ご当地の人気アニメ「八十亀ちゃんかんさつにっき」メインキャラクターの「八十亀ちゃん」と名古屋ダイヤモンドドルフィンズ公式マスコット「ディーディー」が献血の応援に登場し、献血キャラクター「けんけつちゃん」とコラボして会場を盛り上げました。



官庁街献血(毎年8月、1月)

愛知県庁西庁舎で実施する官庁街献血は、県庁・市役所を始め周辺官庁や来庁者の方などから、多くの献血のご協力をいただきました。



10代夏のキャンペーン



卒業献血キャンペーン



献血ポスターコンペティション

将来の献血運動や輸血医療を支える若年層の方々への関心を高めていただくため、東海北陸ブロック内7県で毎年実施し、最優秀作品には賞状や副賞を贈呈します。



愛知県赤十字血液センター所長賞

供給業務

Distribution Operations

愛知県赤十字血液センター及び豊橋事業所の2供給施設において、輸血用血液製剤毎に定められた温度や保管方法にて適切に管理し、医療機関からの要請に対して年中無休24時間体制で輸血用血液製剤を供給しています。



1 受注業務

24時間体制で医療機関から受注をしています。現在は、WEB発注システムによる受注となっています。



2 出庫業務・外観確認

血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



3 梱包作業

納品伝票と血液製剤の製造番号などの確認と血液製剤ごとに製品温度に適した状態で梱包します。



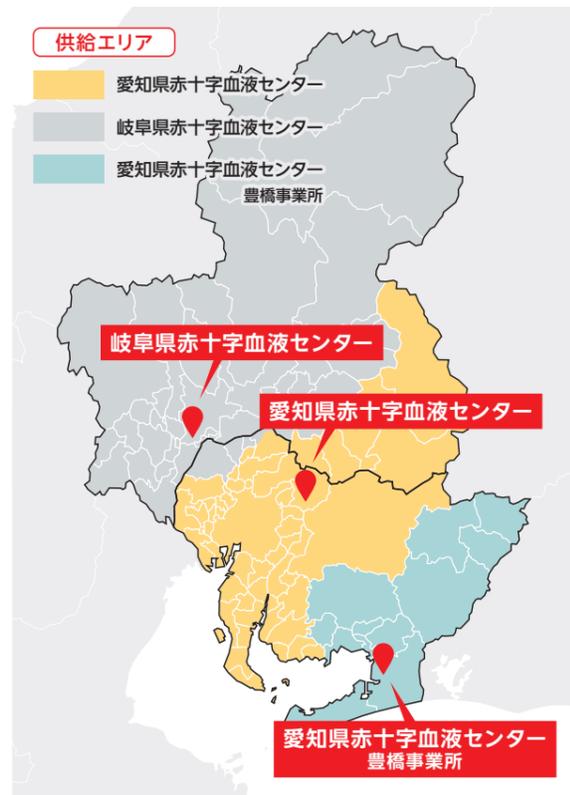
4 搬送

愛知県赤十字血液センター管内で輸血を行う医療機関は約380機関。医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。

広域需給体制に伴う県境を越える供給

Wide-area Supply and Demand Regime

2012(平成24)年4月1日から広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。それに伴い、供給エリア調査を行い、2013(平成25)年4月1日から西尾張地域の一部(一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部)を岐阜県赤十字血液センター、東濃地域(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市)を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。



新たな血液製剤発注システムについて

従来の血液製剤発注方法である電話・FAXに代わる新たな方法としてインターネットで受発注する血液製剤発注システム(WEB発注システム)の導入を推進してきました。2024(令和6)年4月1日から、WEB発注への全面移行をしています。

★ 受発注時の過誤防止

電話での聞き間違いや、手書きや手入力による過誤などの防止に役立ちます。

★ 操作が4STEPで簡単

製剤選択 ⇒ 備考・抗原情報入力 ⇒ 納品日時・お届け先入力 ⇒ 発注確定

★ まとめて発注

赤血球、血漿、血小板など異なる製剤でも、抗原や備考入力も可能。

★ 発注情報等のシステム管理が可能

医療機関での発注履歴やお届けした輸血用血液製剤情報等がシステムに保存され、ファイル抽出(CSVファイル)による閲覧が可能。



2023(令和5)年度 医薬情報活動 Medical Information activities

(1) 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給管内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。

お知らせ

発行年月	内容
令和5年11月	新記載要領に基づく輸血用血液製剤の電子化された添付文書改訂のお知らせ
令和6年1月	「Haemovigilance by JRCS 2022」のホームページ掲載のお知らせ
令和6年3月	「輸血用血液製剤添付文書集(2024年3月現在)電子版」のウェブサイトへの掲載のお知らせ

輸血情報

発行年月	内容
令和5年8月	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2022年-
令和5年8月	赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2022年-

その他の情報媒体

発行年月	内容
令和5年5月	輸血用血液製剤取り扱いマニュアル(令和4年5月改訂版)
令和5年7月	血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン(令和4年5月一部改正)

(2) 輸血副作用の情報収集

20施設 69件

(3) 遡及調査の実施

複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 181件 / 献血後情報 36件

(4) 輸血業務担当者連絡会の開催

開催年月日	内容
令和5年9月16日 (オンライン開催)	「大量輸血における看護部門・検査(輸血)部門の役割について」(シンポジウム) 「学術情報・供給課 供給係からの連絡事項」 「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」
令和6年3月2日 (オンライン開催)	「輸血療法における輸血部門の臨床検査技師と臨床輸血看護師との連携について」(シンポジウム) 「学術情報・供給課 供給係からの連絡事項」 「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」

(5) 医療機関での説明会の実施

- 血液製剤の取り扱い / 輸血副作用 / 輸血過誤について 50回
- 自己血輸血について 1回
- 血液製剤発注システムの操作説明 4回
- 説明会用動画の貸与 10件



(6) その他の活動

- 大学生、専門学校生への講義(輸血関連) ・大学(臨床検査技師・看護師・養護教諭) 5校
- ・専門学校(臨床検査技師・臨床工学士・歯科衛生士) 4校

献血ルーム フォレスト
(則武新町出張所)

献血ルーム タワーズ20
(名古屋駅前出張所)

献血ルーム ゲートタワー26
(名古屋駅前出張所)

大須万松寺 献血ルーム
(大須出張所)

栄献血ルーム
(栄出張所)

愛知県赤十字血液センター



豊田献血ルーム
(豊田出張所)

岡崎献血ルーム
(岡崎出張所)

愛知県赤十字血液センター
豊橋事業所

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539番地3
TEL 0561-84-1131

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



ベッド数：6床
開設日：S62.3



愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇三丁目4番地1
TEL 0532-32-1331

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



ベッド数：9床
開設日：H2.3

献血ルーム フォレスト

〒451-0051 名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階
TEL 052-462-8090

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
成分献血
10:00~17:00



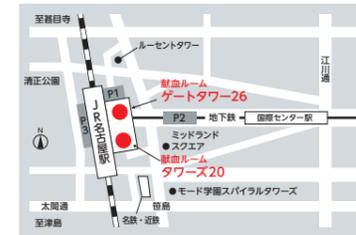
ベッド数：10床
面積：407.14㎡
開設日：R3.10

献血ルーム タワーズ20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
JRセントラルタワーズ20階
TEL 052-571-1002

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血 10:00~17:45
成分献血 10:00~17:00



ベッド数：28床 面積：951.84㎡
開設日：H23.10



献血ルーム ゲートタワー26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号
JRゲートタワー26階
TEL 052-589-2229

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血 11:00~18:45
成分献血 11:00~18:00



ベッド数：18床 面積：525.72㎡
開設日：H29.4



栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
TEL 052-242-7030

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~17:45
成分献血
10:00~17:00



ベッド数：18床
面積：447㎡
開設日：H2.6

大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
TEL 052-251-7161

[定休日] 12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
11:00~13:00 / 14:00~18:45
(土・日・祝日) 11:00~18:45
成分献血(平日のみ)
11:00~12:00 / 14:00~18:00



ベッド数：5床
面積：179.76㎡
開設日：H18.10

豊田献血ルーム

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9F
TEL 0565-35-4480

[定休日]
火曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



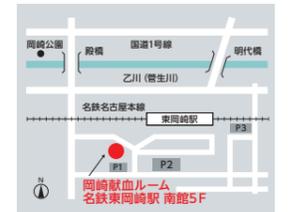
ベッド数：10床
面積：246.095㎡
開設日：H9.4

岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館5F
TEL 0564-52-1800

[定休日]
金曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



ベッド数：9床
面積：263.56㎡
開設日：H15.5

3 組織

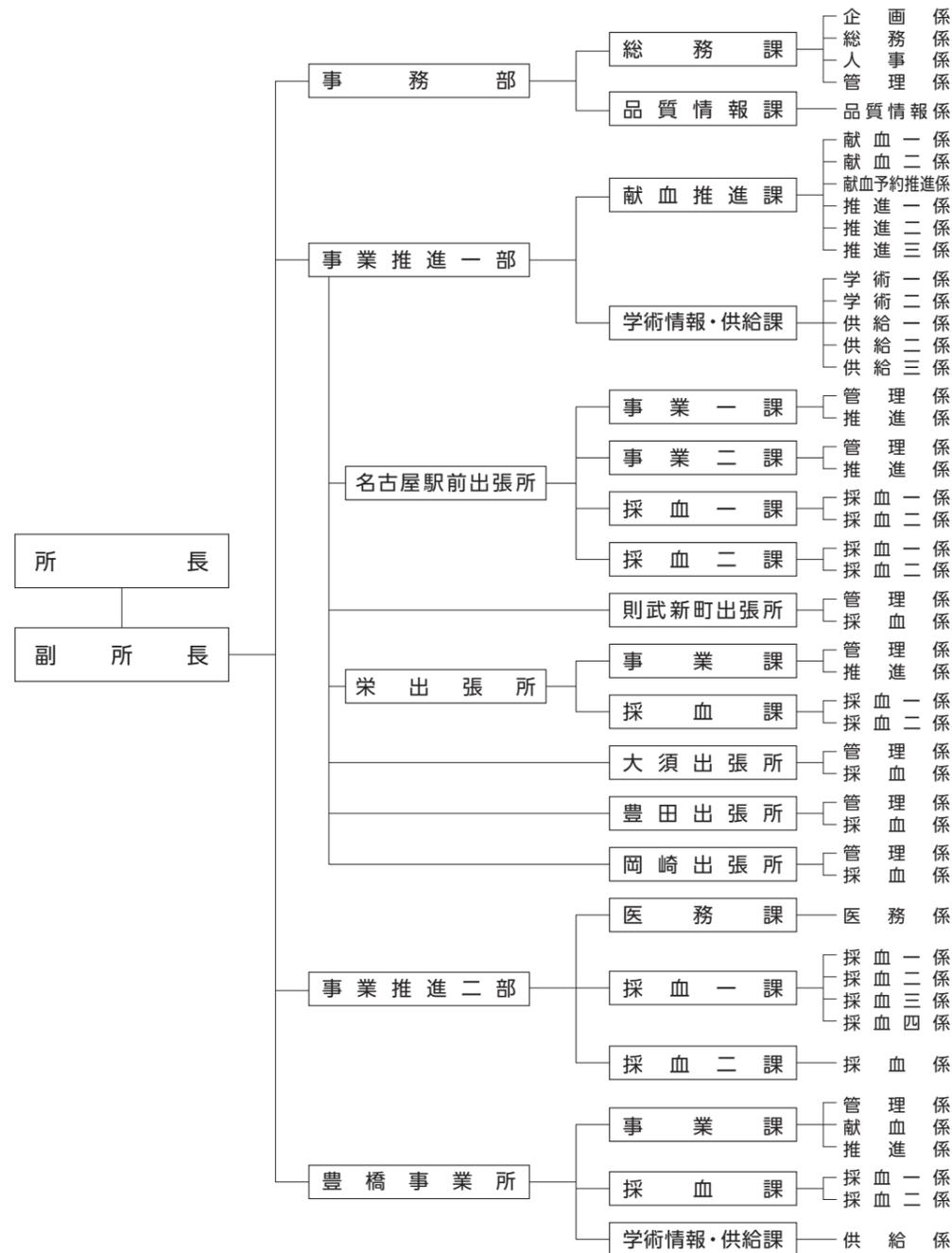
Organization

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。

組織機構図 Organization Chart

(令和6年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター



愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center

施設 Facility

[所在地] 瀬戸市南山口町539番地3
 [敷地面積] 63,594.57㎡
 [建物] (本館・北館) 構造 / 鉄筋コンクリート一部鉄骨造
 地上4階・塔屋1階
 延面積 / 9,783.21㎡
 [付属建物] 大型車庫、合併処理槽機械室



車両台数 Number of Vehicle

献血バス	健診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8台	3台	4台	4台	28台	1台	12台	60台

(令和6年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch

施設 Facility

[所在地] 豊橋市東脇三丁目4番地1
 [敷地面積] 3,014.07㎡
 [建物] 構造 / 鉄筋コンクリート造
 地上3階・塔屋1階
 延面積 / 1,694.00㎡
 [付属建物] 車庫

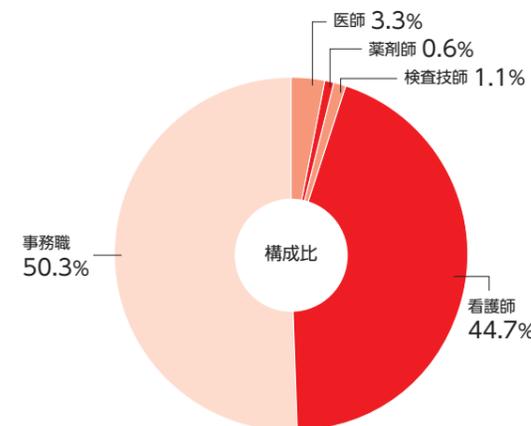


車両台数 Number of Vehicle

献血バス	健診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3台	1台	0台	5台	3台	12台

(令和6年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター職員数 Number of Staff



職種	人員	構成
医師	12人	3.3%
薬剤師	2人	0.6%
検査技師	4人	1.1%
看護師	161人	44.7%
事務職	181人	50.3%
計	360人	100%

* 非常勤職員含む

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

4 活動実績

Actural Result

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。

献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける

1962(昭和37)年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩みが続けています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	1962(昭和37)年10月 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設	1952(昭和27)年4月 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設
	1964(昭和39)年12月 愛知県赤十字血液センターと名称を改める	1956(昭和31)年6月 「採血及び供血あっせん業取締法」公布
	1966(昭和41)年6月 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸)	1960(昭和35)年8月 「業事法」公布
	1968(昭和43)年1月 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始	1964(昭和39)年8月 「献血の推進について」閣議決定
11月 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始		
1969(昭和44)年8月 愛知県Rh(-)友の会を結成	1969(昭和44)年 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止	
1970	1970(昭和45)年4月 血液低比重者の諸検査開始	
	1971(昭和46)年3月 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始	
	4月 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立	
	1972(昭和47)年3月 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる	
	1973(昭和48)年4月 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始	
	1974(昭和49)年4月 血液代金自己負担金給付制度実施	1974(昭和49)年 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立)
1977(昭和52)年4月 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	1975(昭和50)年 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始	
1979(昭和54)年4月 採血が瓶採血からビニールバック採血に切り替わる		
11月 開設以来、献血者150万人達成		
1980	1982(昭和57)年2月 分室を中区丸の内三丁目5番地10号(住友商事丸の内ビル9階)に新設	
	4月 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除)献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始	
	6月 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	1983(昭和58)年6月 日本赤十字社血漿分画事業開始
	1984(昭和59)年4月 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始	
1986(昭和61)年3月 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター)	1986(昭和61)年4月 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入)	
4月 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設		
愛知県学生献血連盟発足		

	愛知の動き	全国の動き
1980	1986(昭和61)年10月 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施	1986(昭和61)年 HIV抗体検査及びHTLV-I抗体検査を開始
	1987(昭和62)年1月 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設	
	3月 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター)	
	4月 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設	
	8月 西三河部への輸血用血液の直配開始	
	9月 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催	
	1988(昭和63)年7月 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター)	
	10月 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設	
	1989(平成元)年1月 愛知県内の献血者延500万人達成	1989(平成元)年 HBc抗体、HCV抗体検査開始
	1990	1990(平成2)年3月 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター)
6月 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設		
1991(平成3)年3月 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設		
12月 血液センター組織に地方骨髄データセンター設置		
1992(平成4)年6月 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設		1992(平成4)年1月 赤血球M・A・P[日赤]の製造承認許可
11月 赤血球M・A・P[日赤]の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター)		
1993(平成5)年4月 赤血球M・A・P[日赤]の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター)		1993(平成5)年8月 「自己血輸血協力要綱」作成
10月 三の丸出張所を名古屋市中区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設		
1994(平成6)年1月 自己血輸血協力開始		
3月 愛知県内血液センター需給計画委員会設置		
4月 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター)		
9月 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター)		
1995(平成7)年3月 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催	1995(平成7)年4月 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更	
1996(平成8)年10月 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約	7月 統一した献血申込書及び問診票導入	
1997(平成9)年4月 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始		
豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T-FACE 9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設		
7月 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約		
10月 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	1998(平成10)年6月 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始	
1999(平成11)年4月 県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約	1999(平成11)年4月 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ	
刈谷市南桜町一丁目73番地(O T Aビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設	5月 献血者情報の全国一元管理システムが稼働	
8月 名古屋市熱田区金山町1-202(東和ビル「メガネプラザビル」7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設	10月 HTLV-I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更	
11月 愛知県赤十字血液センター北館完成	核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始	

	愛知の動き	全国の動き
2000	2000(平成12)年3月 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成	2002(平成14)年4月 HCV抗体陽性者への通知基準の変更
	2001(平成13)年2月 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設	7月 薬事法及び採血及び供血あつせん業取締法の一部を改正する法律の公布「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布
	9月 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催	8月 有償採血の禁止
	2003(平成15)年2月 愛知県内の献血者延1,000万人達成	2003(平成15)年7月 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行
	3月 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所	2004(平成16)年1月 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目)
	5月 岡崎市明大寺町字寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設	10月 献血受付時の本人確認実施開始
	2004(平成16)年6月 第二次全国統一システム稼働	2005(平成17)年4月 改正薬事法施行
	2005(平成17)年1月 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成	6月 問診による欧州渡航歴の献血制限開始
	6月 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置	7月 6カ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始
	10月 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	2006(平成18)年3月 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始
	2006(平成18)年3月 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立	8月 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロピン」販売開始
	9月 白壁出張所(献血ルーム)の閉所	9月 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始
10月 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始	2007(平成19)年1月 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始	
2007(平成19)年2月 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約	11月 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更	
5月 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約	2008(平成20)年7月 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始	
2008(平成20)年1月 成分採血(血漿)の初流血除去開始	2009(平成21)年3月 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始	
6月 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約	10月 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更	
8月 製剤ラベルの変更		
2009(平成21)年4月 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約		
11月 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催		
2010	2010(平成22)年5月 第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催	2010(平成22)年1月 英国滞在歴に関する献血制限の緩和
		2月 販売名変更代替新規承認品目 濃厚血小板-LR「日赤」・濃厚血小板HLA-LR「日赤」・照射濃厚血小板-LR「日赤」・照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始
		12月 血液型、生化学検査及び白血球計数検査成績の通知対象者の拡充
	2011(平成23)年10月 J R セントラルタワーズ 20階に名古屋駅前出張所を移転開設	2011(平成23)年4月 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ)
	11月 愛知県赤十字血液センター製造棟完成	2014(平成26)年6月 血液事業情報システム導入
	2012(平成24)年3月 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約	8月 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入
	4月 広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める	2015(平成27)年3月 日本赤十字社による血漿分画製剤の販売終了
	2013(平成25)年4月 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域)	2016(平成28)年4月 ALT検査による製品除外基準の変更
	2014(平成26)年4月 豊橋出張所を豊橋事業所に改める	9月 照射洗浄血小板-LR「日赤」・照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始
	7月 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	2018(平成30)年9月 新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長
	2017(平成27)年4月 金山出張所と刈谷出張所の閉所 J R ゲートタワー 26階に名古屋駅前出張所を拡張	10月 複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用開始
	2019(令和元)年5月 愛知県 Rh(-)友の会解散	

	愛知の動き	全国の動き
2020	2020(令和2)年8月 愛知県内の献血者延1,500万人達成	2020(令和2)年8月 全国一斉にE型肝炎検査(HEV NAT)を導入
		9月 血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められ、健康診断基準として血圧、脈拍、体温基準の明示 全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更 ※献血ルームは順次
		11月 献血者顕彰規程を改正し、記念品贈呈を行う献血回数や記念品の選択制を導入 問診における癌の問診判断基準を緩和
		2021(令和3)年5月 新型コロナウイルスの mRNA ワクチンを含むRNA ワクチンを接種された方の献血制限期間の明示
		9月 新型コロナウイルス感染症の既往者(または検査陽性者)についての献血制限期間の明示
	2021(令和3)年10月 名古屋西区則武新町3-1-17(イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階)に則武新町出張所(献血ルーム)を開設	11月 国民の健康増進に有益な情報として還元することを目的として、平成28年以降に採血された献血者に関する血液検査値の集計を行い、ホームページにおいて情報公開を開始 HTLV-1と梅毒の偽陽性の方への通知を開始
		2022(令和4)年2月 献血ルームを含め全ての施設で全血献血の採血前検査を指先穿刺に変更
	2022(令和4)年4月 献血推進部門における業務管理体制の適正化を目的として、名古屋駅地区及び栄地区に管理担当者(エリアマネージャー)を配置	4月 新型コロナウイルスのウイルスベクターワクチンを接種された方の献血制限期間の明示
		7月 NAT偽陽性の方への通知を開始 エムボックスウイルス感染症に対する安全対策として、感染された方等からの献血制限を実施
		9月 ラブラッドのアプリがリリースされ、アプリ版献血カード、事前Web問診回答機能、プレ会員の導入を開始
		11月 新型コロナウイルスの組み換えたんぱく質ワクチン及び不活化ワクチン等を接種された方の献血制限期間の明示
		2023(令和5)年3月 有効期間を「採血後28日間」に延長した赤血球製剤の供給開始
	5月 全献血希望者に対して体重測定を実施する運用を開始(献血ルームのみ先行実施、移動採血車等は9月開始) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更されたことに伴い、血液事業における各種対応を変更	
	12月 新型コロナウイルス感染症の既往者の献血制限期間が4週間から2週間に変更	

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰

毎年献血に多大なご協力をいただいたみなさまに感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。
2023(令和5)年度も多くの個人・団体のみなさまにご協力をいただき、功労表彰を授与させていただきました。
血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状

4団体

愛知県学生献血連盟
大府ライオンズクラブ
蒲都市職員互助会
興和労働組合 名古屋支部

株式会社スガテック 名古屋支店
株式会社東海理化
公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会 名南西支部
公立西知多総合病院
サンハウス食品株式会社
電力総連 愛知電機労働組合
トヨタ自動車 滝頭寮地区寮生会
トヨタ紡織株式会社 大口工場
トヨタ紡織株式会社 猿投工場
メディカル総合学園 名古屋医専
陸上自衛隊 守山駐屯地

厚生労働大臣感謝状

11団体

イオンモール株式会社 イオンモール東浦
イチビキ株式会社 第1工場
犬山ライオンズクラブ
大口町献血推進協議会
岡崎石工団地協同組合 青年経営者協議会
株式会社げんきの郷
住友ナコフォークリフト株式会社
大同マシナリー株式会社
中央製乳株式会社
東海ライオンズクラブ
常滑ライオンズクラブ

献血功労団体

3団体

一宮市千秋町連区町会長会
一宮ライオンズクラブ
高浜ライオンズクラブ

日本赤十字社表彰

日本赤十字社社長感謝状(30年以上) 12団体

大府市役所
株式会社日本製鋼所 名機製作所
株式会社松尾製作所
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
住友重機械工業株式会社 名古屋製造所
名古屋港管理組合職員労働組合 献血会
名古屋テレビ放送株式会社
パイロットインキ株式会社
フタムラ化学株式会社 名古屋工場
三菱電機株式会社 名古屋製作所

陸上自衛隊 春日井駐屯地
名古屋城北ライオンズクラブ

金色有功章(献血100回以上) 429名

金色有功章(20年以上) 7団体

株式会社平安閣
極東開発工業株式会社 名古屋工場
中部電力労働組合名古屋総支部 半田支社支部
名古屋電機工業株式会社
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
ユニー株式会社 アピタ稲沢店
ユニー株式会社 ピアゴ八剣店

銀色有功章(献血70回以上) 623名

銀色有功章(15年以上) 7団体

株式会社藤商事
株式会社アイシン 新豊工場
大和ハウス工業株式会社 愛知北支店
フタバ産業株式会社 知立工場
イオンモール株式会社 イオンモール木曾川
イオンリテール株式会社 イオン三好店 アイ・モール
ユニー株式会社 アピタ江南西店

支部長感謝状(金枠10年以上) 8団体

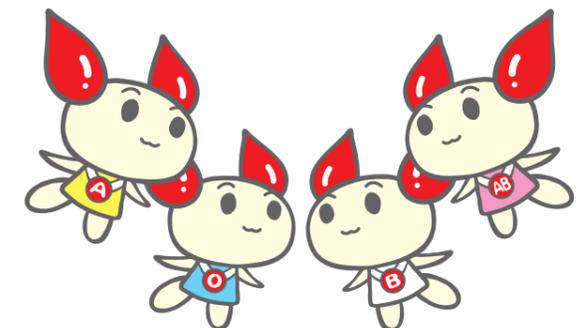
小島産業株式会社
信用組合愛知商銀
テクノハマ株式会社
東海医療科学専門学校
日本空調システム株式会社

ユニー株式会社 アピタ千代田橋店
ユニー株式会社 アピタパワー大府店
株式会社ティ・エス・シー

支部長感謝状(銀枠5年以上) 10団体

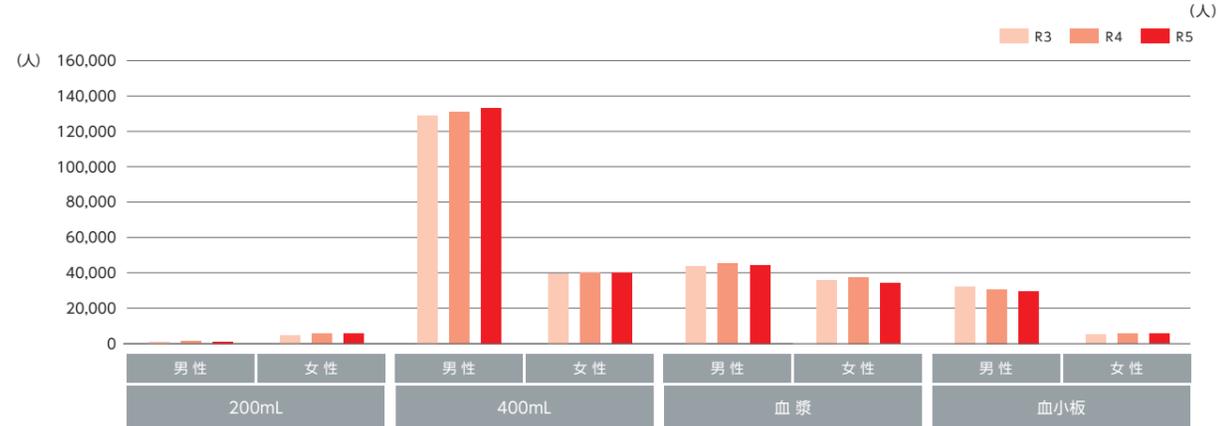
アリアーレビューティー専門学校
学校法人21世紀アカデミア
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
株式会社ATグループ
川崎重工業株式会社 名古屋第一工場
社会医療法人財団新和会 八千代病院
知多市役所
日本福祉大学 東海キャンパス
イオンモール株式会社 イオンモール長久手
岩倉市福祉課 障がい福祉グループ
プライムツリー赤池

(順不同・敬称略)



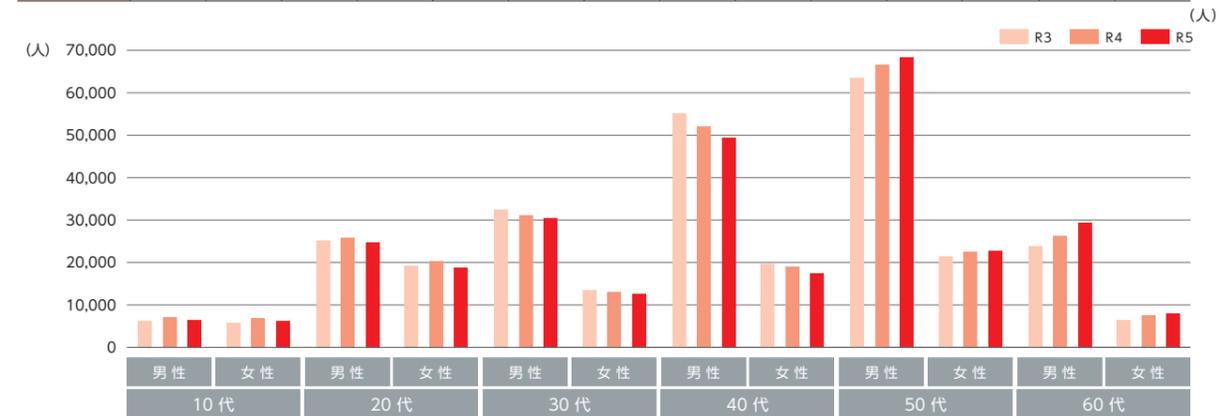
献血種別の推移 Blood Donation Type of Transition

	200mL		400mL		血漿		血小板		合計						
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性					
令和5年度	6,966	1,214	5,752	173,369	133,372	39,997	78,877	44,533	34,344	35,270	29,742	5,528	294,482	208,861	85,621
令和4年度	7,320	1,479	5,841	171,444	131,280	40,164	83,074	45,467	37,607	36,452	30,777	5,675	298,290	209,003	89,287
令和3年度	6,192	1,236	4,956	169,032	129,205	39,827	79,981	43,949	36,032	37,527	32,303	5,224	292,732	206,693	86,039

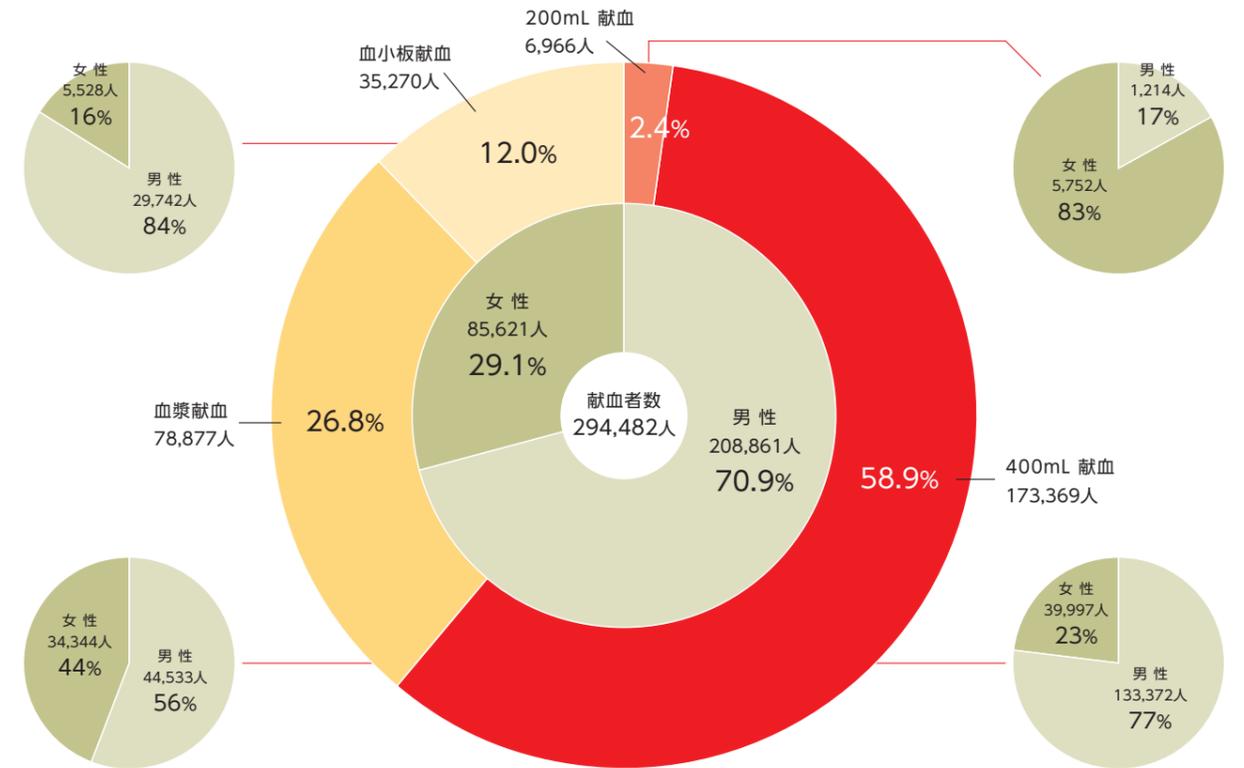


年代別の推移 Transition by Age Group

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和5年度	6,505	6,195	24,807	18,680	30,380	12,611	49,415	17,447	68,330	22,679	29,424	8,009	208,861	85,621
令和4年度	7,051	6,934	25,869	20,362	31,153	13,147	52,075	18,902	66,640	22,453	26,215	7,489	209,003	89,287
令和3年度	6,180	5,879	25,254	19,264	32,531	13,440	55,200	19,634	63,637	21,327	23,891	6,495	206,693	86,039



献血種別献血者数 Blood Donation Type Number of Blood Donors

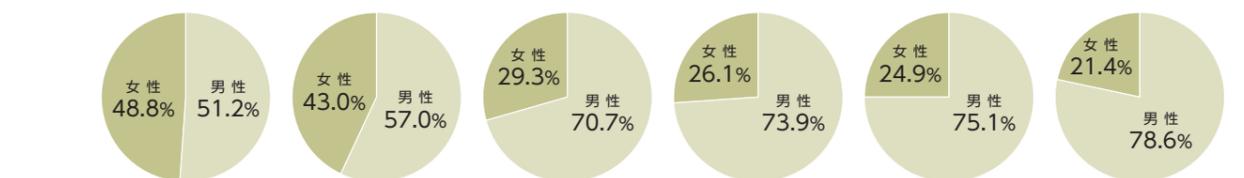


(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

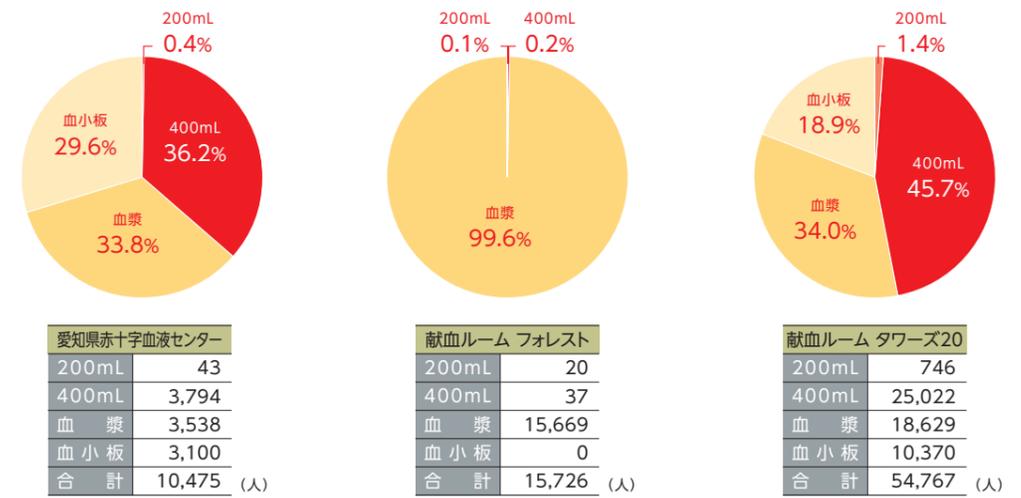
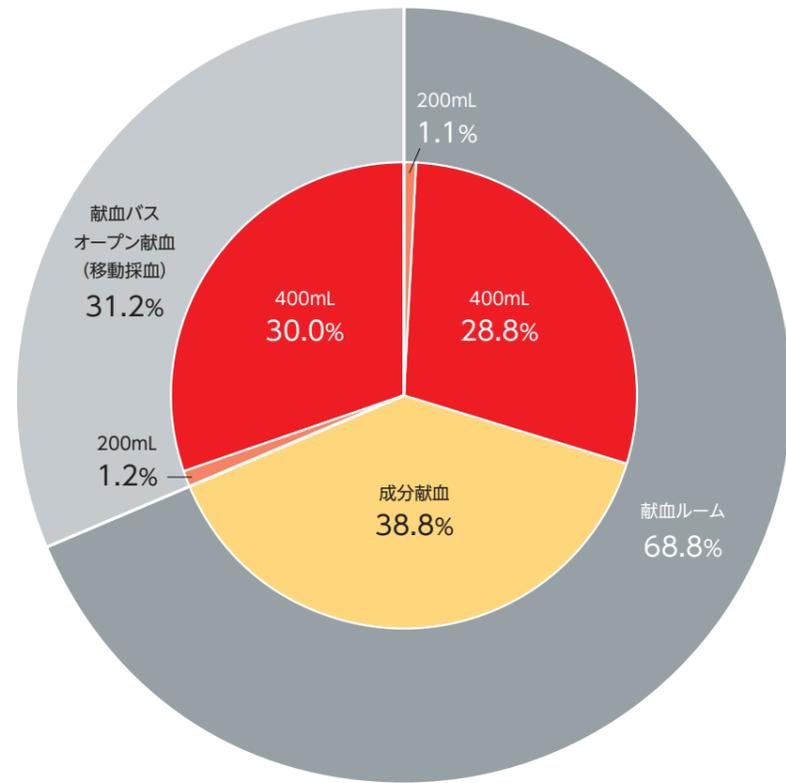
年代別献血者数 Blood Donations by Age Group



性別	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL
男性	869	4,736	151	18,490	54	21,218	48	31,461	57	40,933	35	16,534
	621	279	3,672	2,494	5,397	3,711	10,451	7,455	16,495	10,845	7,897	4,958
	279	279	2,494	2,494	3,711	3,711	7,455	7,455	10,845	10,845	7,897	4,958
	合計	6,505	合計	24,807	合計	30,380	合計	49,415	合計	68,330	合計	29,424



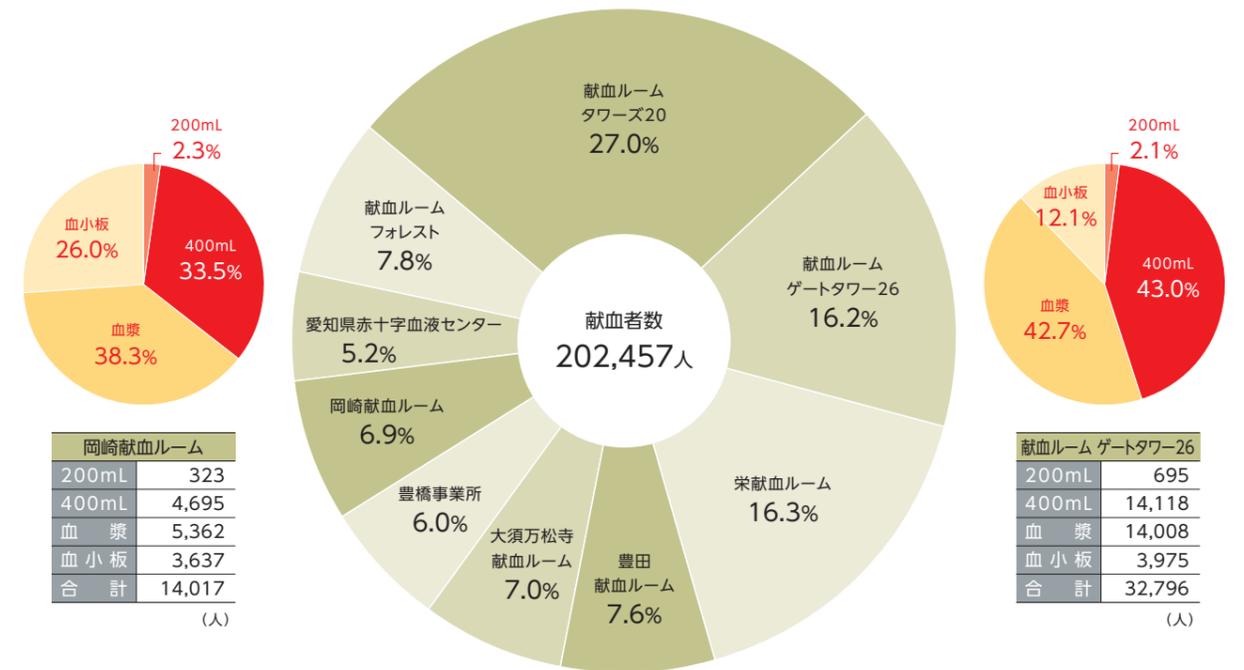
性別	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL
女性	2,699	2,032	1,221	8,715	443	6,054	541	8,014	674	11,513	174	3,669
	1,320	144	7,556	1,188	4,885	1,229	7,063	9,354	1,138	4,166	0	0
	144	144	1,188	1,188	1,229	1,229	1,829	1,138	1,138	1,138	0	0
	合計	6,195	合計	18,680	合計	12,611	合計	17,447	合計	22,679	合計	8,009



施設別採血種別献血者数の推移 Changes in the Number of Blood Donors by Site

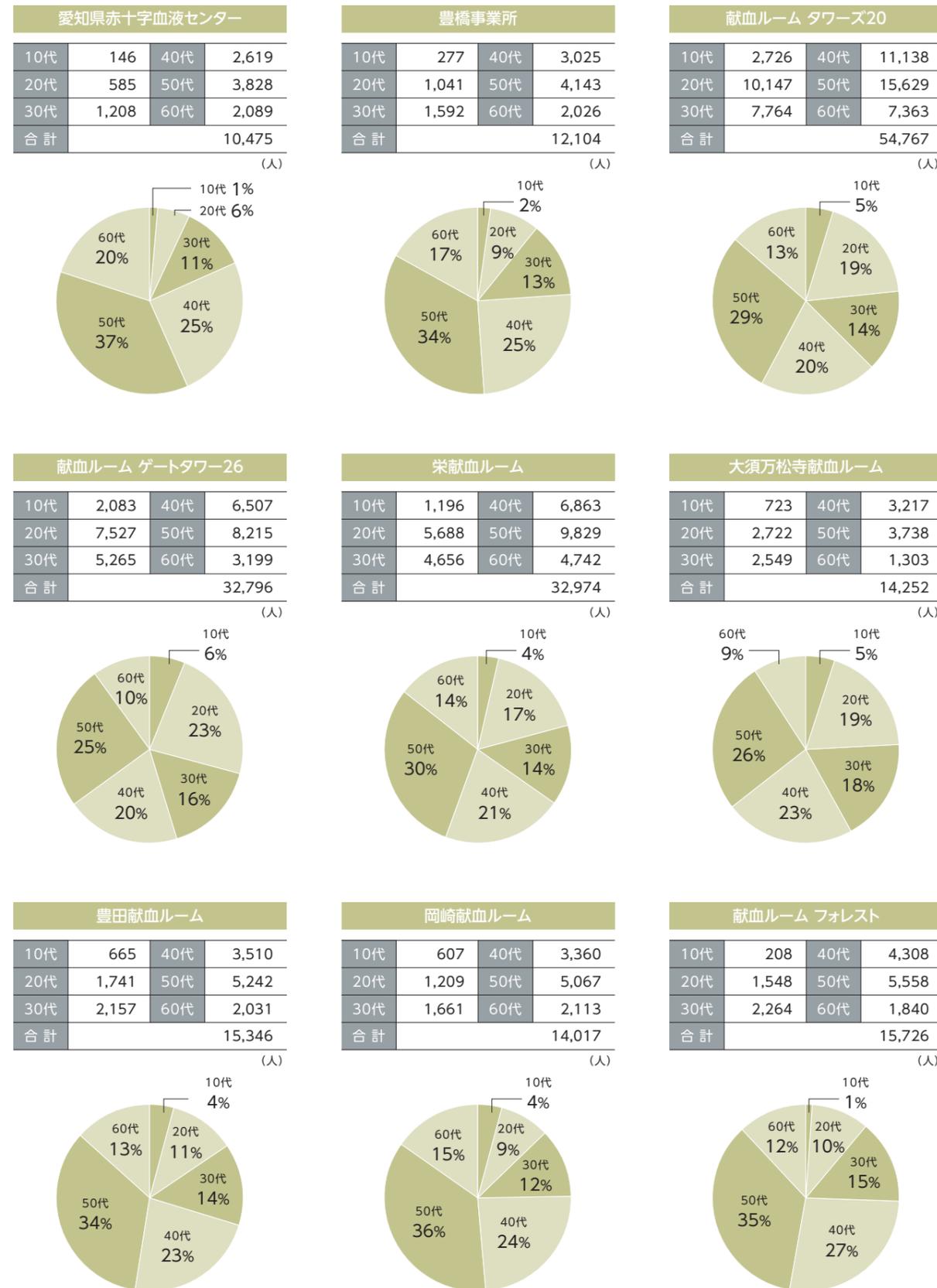
採血種別	年度	愛知県赤十字血液センター	豊橋事業所	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー26	栄献血ルーム	献血ルーム フォレスト	大須万松寺 献血ルーム	豊田 献血ルーム	岡崎 献血ルーム	移動 献血バス+オープン
		200mL	令和5年度	43	176	746	695	539	20	443	375
200mL	令和4年度	38	124	794	570	442	36	428	402	402	4,084
	令和3年度	47	141	618	543	460	21	449	270	320	3,323
	令和5年度	3,794	4,880	25,022	14,118	13,632	37	11,969	6,803	4,695	88,419
400mL	令和4年度	3,602	4,835	24,186	14,762	11,550	126	12,129	6,825	4,453	88,976
	令和3年度	3,744	4,809	21,844	13,971	11,945	352	12,470	6,275	4,346	89,276
	令和5年度	3,538	3,365	18,629	14,008	12,147	15,669	1,387	4,772	5,362	0
血漿	令和4年度	3,770	3,449	22,512	14,012	13,388	13,989	1,473	5,240	5,241	0
	令和3年度	4,606	4,695	23,450	15,293	14,710	4,982	1,250	5,684	5,298	0
	令和5年度	3,100	3,683	10,370	3,975	6,656	0	453	3,396	3,637	0
血小板	令和4年度	3,194	3,682	10,578	4,599	6,185	0	795	3,793	3,626	0
	令和3年度	3,028	3,814	10,468	4,726	6,247	0	1,156	4,087	4,001	0
	令和5年度	10,475	12,104	54,767	32,796	32,974	15,726	14,252	15,346	14,017	92,025
合計	令和4年度	10,604	12,090	58,070	33,943	31,565	14,151	14,825	16,260	13,722	93,060
	令和3年度	11,425	13,459	56,380	34,533	33,362	5,355	15,325	16,316	13,965	92,599

(人)



(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

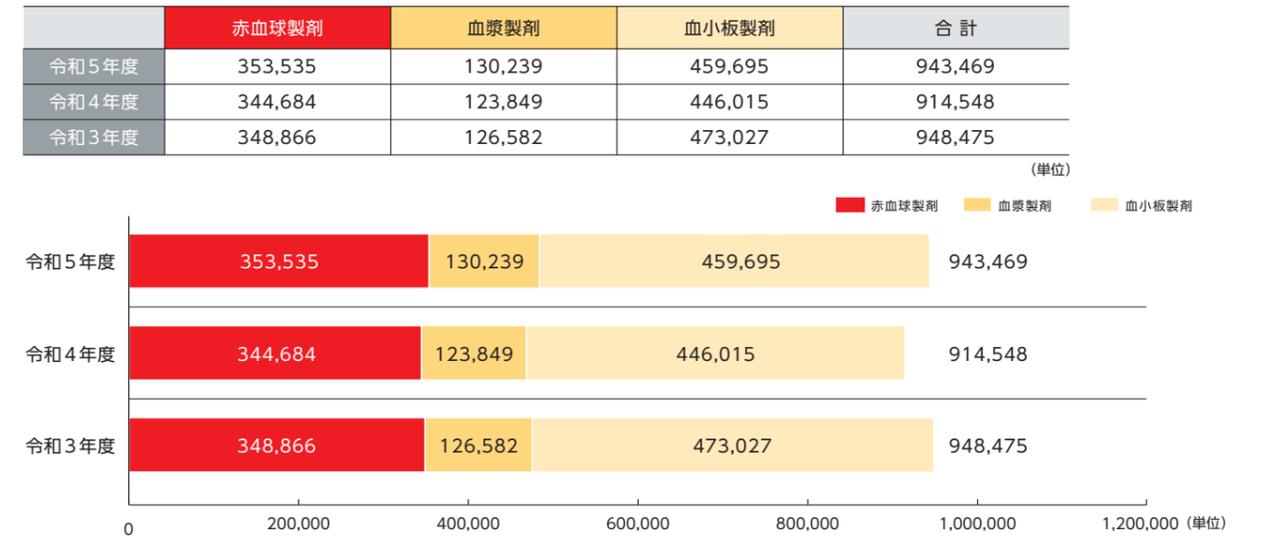
献血ルーム別年代別献血者数 Number of Blood Donors by Age Group



(注) 構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

供給状況 Number of Distribution of Blood Products

供給単位の推移(愛知県)



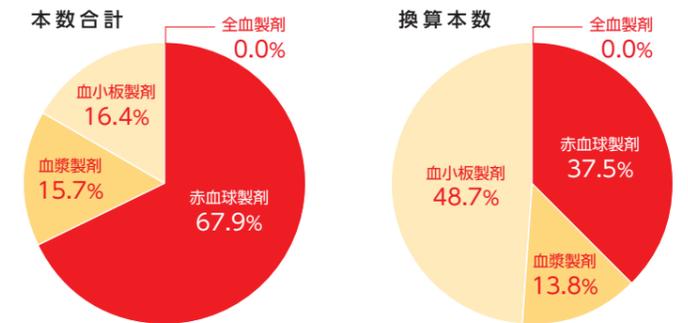
令和5年度 供給実績 Supply Results

愛知県内の供給実績と、愛知県赤十字血液センターからの供給実績 ※広域需給体制に伴う県境を越える供給エリアについては8ページ参照

愛知県内の供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	180,461	353,535
血漿製剤	41,650	130,239
血小板製剤	43,680	459,695
合計	265,791	943,469

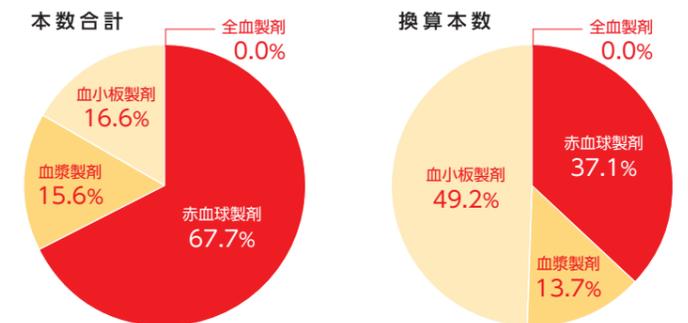
(単位: 本)



愛知県赤十字血液センターからの供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	170,658	334,648
血漿製剤	39,433	123,437
血小板製剤	41,938	443,220
合計	252,029	901,305

(単位: 本)



- 単位換算数: 赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
- 血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
- 血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

[発行所]

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3 TEL 0561-84-1131

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto,AICHI JAPAN zip489-8555

<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



環境にやさしい用紙と
植物油インキを使用しています。

令和6年8月31日発行